

平成30年度事業報告書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)



公益財団法人宗像ユリックス

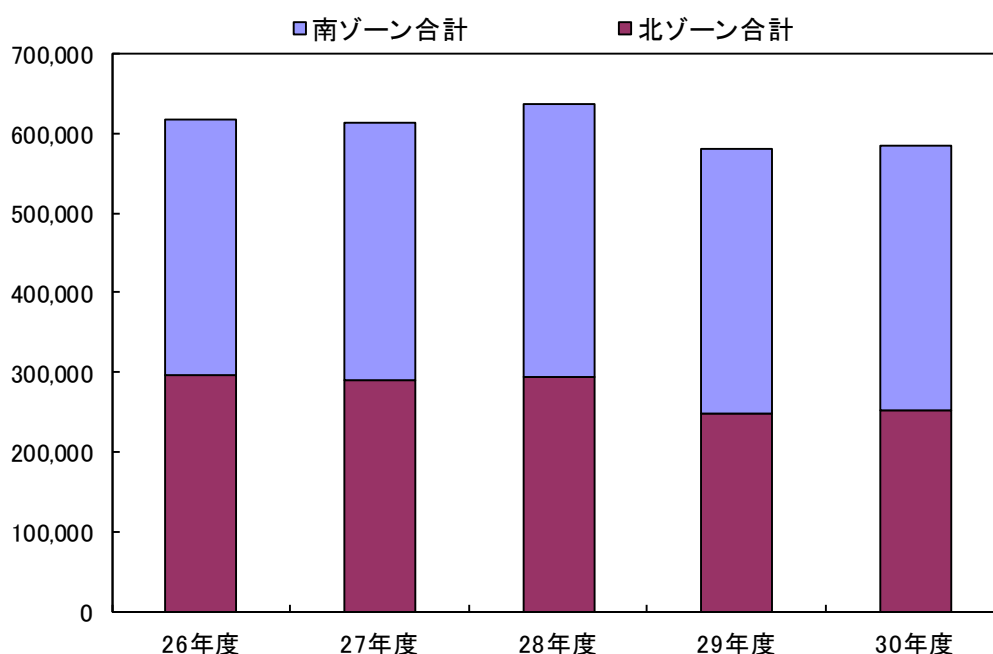
公1、収1「公園施設等の管理運営事業（貸館事業）」

利用者数

平成30年度、宗像ユリックス総合公園の総利用者数は、584,511人（前年度比100.8%）となり、前年度と比較して4,530人の増加であった。内訳は以下のとおりである。

北側施設（北ゾーン）は、図書館を除く本館231,835人（同102.9%）、テニスコート20,068人（同92.1%）、プラネタリウム（野外）1,589人（同142.6%）となり、北ゾーン全体では253,492人（同102.2%）と前年比5,416人の増加となった。

一方、南側施設（南ゾーン）では、アクアドーム利用者数は191,925人（同97.5%）、パットゴルフ4,235人（同104.2%）、ゆ〜ゆ〜プール62,091人（同93.9%）、芝生広場等72,768人（同112.3%）となり、南ゾーン全体では331,019人（同99.7%）とほぼ前年並みとなった。



	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
本館（図書館を除く）	272,869	265,476	271,205	225,165	231,835
テニスコート	22,431	22,107	21,372	21,797	20,068
プラネ（野外）	1,610	1,609	1,256	1,114	1,589
北ゾーン合計	296,910	289,192	293,833	248,076	253,492
対前年比	103.7%	97.4%	101.6%	84.4%	102.2%
アクアドーム	200,266	198,181	203,418	196,902	191,925
パットゴルフ	5,062	4,724	4,157	4,063	4,235
ゆ〜ゆ〜プール	41,430	50,405	68,089	66,159	62,091
芝生広場等	72,458	70,175	67,801	64,781	72,768
南ゾーン合計	319,216	323,485	343,465	331,905	331,019
対前年比	91.9%	101.3%	106.2%	96.6%	99.7%
利用者数合計（図書館除く）	616,126	612,677	637,298	579,981	584,511
対前年比	97.3%	99.4%	104.0%	91.0%	100.8%
図書館	235,496	230,683	220,915	219,487	224,845
利用者数総合計（図書館を含む）	851,622	843,360	858,213	799,468	809,356
対前年比	95.9%	99.0%	101.8%	93.2%	101.2%

施設の利用率¹

■ 3大施設の利用率

ユリックス本館の施設利用率についてみると、3大施設（イベントホール、ハーモニーホール、展示室）については、右表のようになっている。

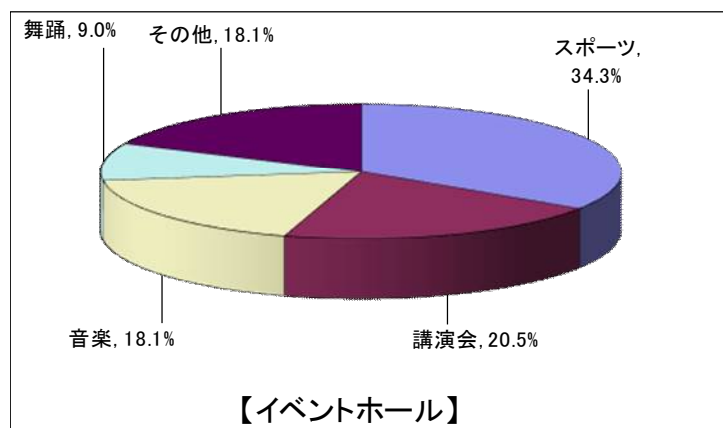
	29年度	30年度	前年度比
イベントホール	88.2%	71.9%	- 16.3%
ハーモニーホール	82.8%	76.9%	- 5.9%
展示室	70.4%	72.6%	+ 2.2%

施設利用の内容

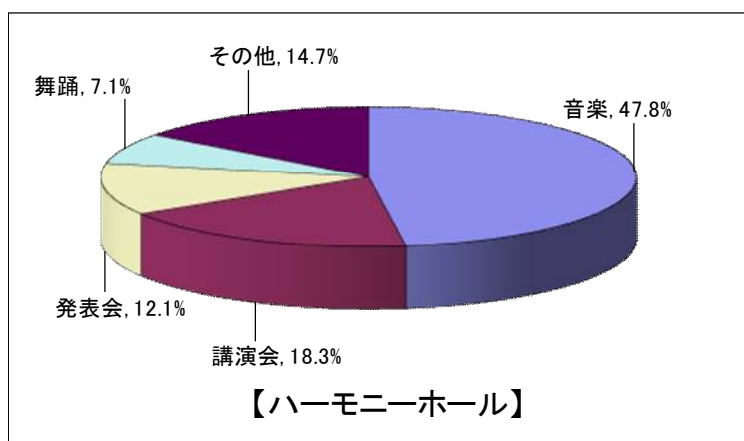
本館3大施設の利用内容別に集計すると次のとおりとなる。

イベントホールは、総件数が210件で前年度に比べ47件減少した。

利用内訳は、スポーツ 34.3%、講演会 20.5%、音楽 18.1%、舞踊 9.0%、その他 18.1%となっている。前年度と比較して、スポーツ（バドミントン）の利用が減少している。



イベントホール	スポーツ	講演会	音楽	舞踊	その他	計
利用件数	72	43	38	19	38	210
利用割合	34.3%	20.5%	18.1%	9.0%	18.1%	100.0%



ハーモニーホールは、総件数 224 件で前年度に比べ 18 件減少した。

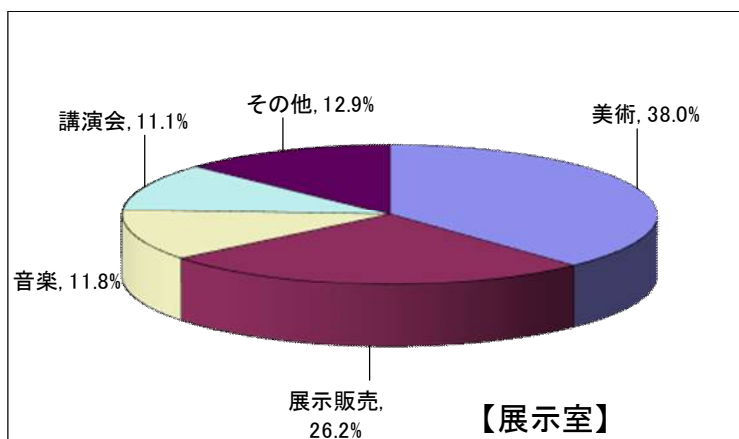
利用内訳は音楽 47.8%、講演会 18.3%、発表会 12.1%、舞踊 7.1%、その他 14.7%となっている。

前年度と比較して、発表会での利用が増加しているが、音楽、講演会、舞踊での利用が減少している。

ハーモニーホール	音楽	講演会	発表会	舞踊	その他	計
利用件数	107	41	27	16	33	224
利用割合	47.8%	18.3%	12.1%	7.1%	14.7%	100.0%

¹ 利用率は、開館日のうち貸出3区分（午前：9時～12時、午後：13時～17時、夜間：18時～22時）のいずれかに利用が入っている場合を100%として算出。

展示室は、利用件数が 271 件で前年度に比べ 16 件増加した。利用内訳は美術 38.0%、展示販売 26.2%、音楽 11.8%、講演会 11.1%、その他 12.9% となっている。前年度と比較して美術、展示販売、音楽での利用が増加し、講演会での利用が減少した。



展示室	美術	展示販売	音楽	講演会	その他	計
利用件数	103	71	32	30	35	271
利用割合	38.0%	26.2%	11.8%	11.1%	12.9%	100.0%

その他、会議室、和室等の貸出施設については、にっこり文化講座で多く利用したほか、企業の面接会場、会議、研修や自主サークル団体の活動の場として利用された。

その他の取り組み・施策

顧客のニーズに対応するための「夜間有料学習室」、舞台の空き区分を活用した「舞台上で気軽にピアノレッスン」などのサービスアップに取り組んでいる。

●夜間有料学習室

個人の勉強の場として、17:30 から 21:30 の時間帯で、1 席 100 円（7 月から 9 月、12 月から 3 月は空調代を含んで 200 円）で貸し出した。年間利用者数は 1,437 人で、前年度と比較して 306 人減少した。売上は 217,900 円となった。

<月別利用者数>

(単位：人)

月度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
利用者数	123	156	143	100	130	104
月度	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
利用者数	111	162	97	104	129	78

●舞台上で気軽にピアノレッスン

ハーモニーホールの舞台上でコンサートピアノを使った練習が 1 時間 3,000 円という料金でできるという企画である。平成 30 年度は年間 12 日間、132 利用枠に対し 100 利用枠の実績である。利用率が 75.8% (前年 71.8%) と前年度に引き続き高い利用率を維持した。ピアノ教室の講師などのプロピアニストから、趣味としての愛好家まで幅広い層に支持されており、利用者の定着のためのメルマガ配信も行なっている。

公 1、収 1「公園施設等の管理運営事業（施設管理）」

施設管理

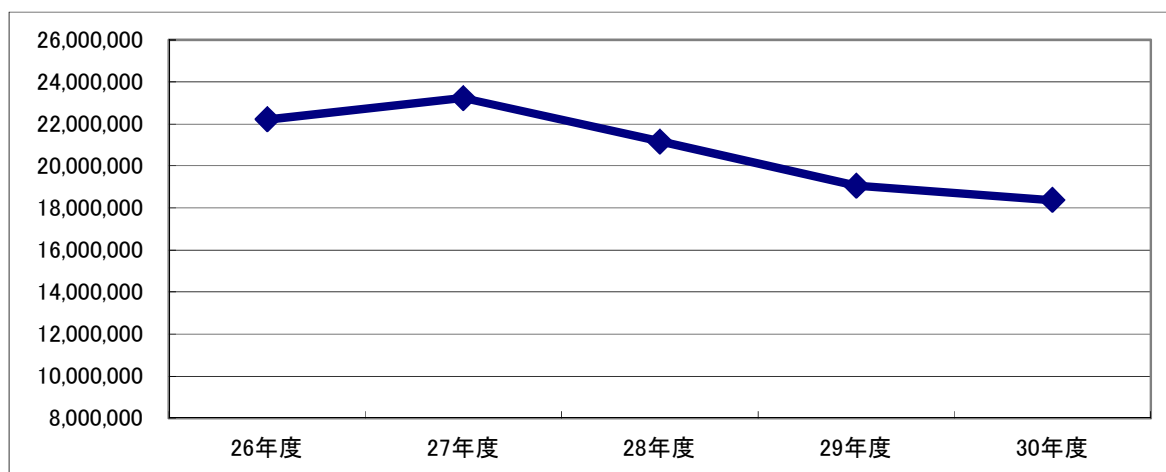
平成とともに歩み始めた宗像ユリックスも開館 30 年目を迎え、老朽化が進む施設や設備について緊急性や安全性などを考慮して修繕を行った。営業部門と連携した改修としては、テニスコートの人工芝の消耗劣化が見られたため、4面の部分張替え改修工事を実施した。

市の保全工事については、図書館の空調設備改修工事と年末年始の休館期間を利用した本館受電設備改修工事が行われた。

安全対策としては、10月に救急訓練と消防訓練、平成 31 年 3 月に地震を想定した避難・救急訓練を行った。地震を想定した訓練は、開館以来、初めての試みであり、利用者の安全確保するための必要な基礎的な知識を得ることができた。

また、ランニング練習等による芝生広場の芝生の傷みが目立ち始めていることから、より快適な利用環境へと保全するために、芝生広場の芝生上でのランニングを制限する期間を定めて、芝生の養生を行うなどの保全活動を開始した。

[修繕状況]



	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
修繕発生件数(件)	101	122	94	97	104
対前年度比	109.8%	120.8%	77.0%	103.2%	107.2%
修繕コスト(円)	22,218,978	23,238,154	21,168,934	19,063,810	18,371,687
対前年度比	130.3%	104.6%	91.1%	90.1%	96.4%

[主な改修・修繕（財団実施）]

1	テニスコート人工芝張替え
2	パットゴルフ人工芝張替え
3	ドーム非常用照明取替修繕

[保全改修事業（宗像市実施）]

1	図書館空調設備改修
2	本館受電設備改修

収 2 「利用者サービス事業」

取り組み・施策

この事業は、公園内に設置している自動販売機による飲食物販売やアクアドーム、ゆ〜ゆ〜プールでの物品販売及び飲食物販売、イベント時の物品販売、受付での消耗品販売など施設利用者の利便性に資するために行っている。

●自動販売機設置事業

利用者に飲食物の便宜を供するために自動販売機を設置しており、15～35%を手数料としている。平成30年度は3,782千円の手数料収入を得ており、今後も自動販売機の増設などサービスの向上に努めていく。

●物品等販売事業

施設利用者に便宜を供するために雨傘や書籍、切手、宗像市指定ごみ袋、財団主催以外のチケット等の販売事業やお弁当・花の手配代行を行っており、平成30年度は1,707千円の販売・手数料収入を得た。

今後も顧客のニーズに対応するために新しいサービスを模索していく。

公2「文化芸術振興事業（文化事業）」

文化事業／総括

平成30年度主催事業として、クラシック15、音楽12、映画12、演劇・古典芸能3、美術3、アウトリーチ87、その他事業59、合計191事業を実施した。

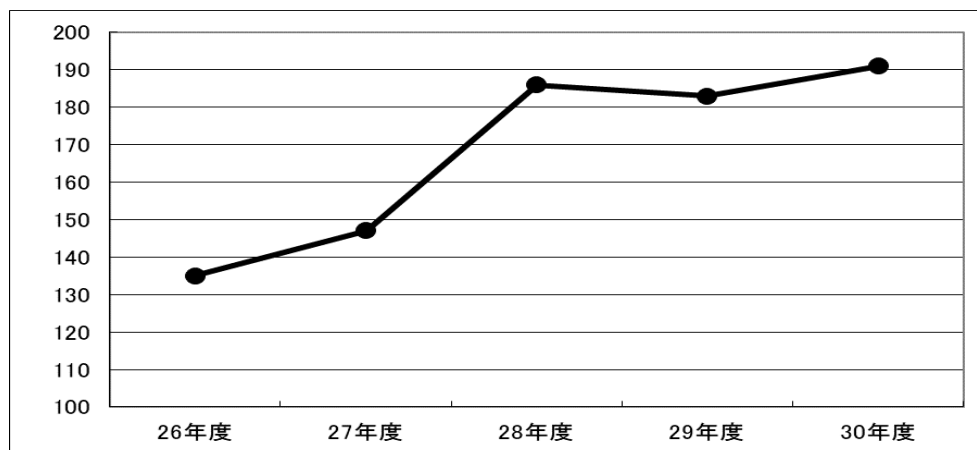
今年度で6回目の開催となる「宗像ミアーレ音楽祭」は、9月29日・30日の2日間で開催した。音楽祭を開催する事で、地域の人々の参加と共感を得ることにより、「新しい広場」としての役割を果たすとともに、文化芸術の担い手となる人材の養成と交流による市民文化活動の活性化にも寄与したと考える。入場者数はプレ事業・アウトリーチ事業を含めると、21,328人（前年23,065人）となり、1,737人の減少となった。主な要因は台風の接近による荒天だが、次年度の音楽祭では、事業内容や広報の見直しも行い、より多くの市民の参加を得たい。

また、人口減少社会の到来による地域コミュニティの衰退や文化芸術の担い手不足が指摘されている中で、子どもの発育段階にあわせて事業を提供する「スマイルキッズプログラム」として、ひとつひとつの事業を常にブラッシュアップしながら、進化し続けることで地域の人々の期待に応え、共感が得られる事業として育成をしていく。

[事業本数・ジャンル別]

(単位：本)

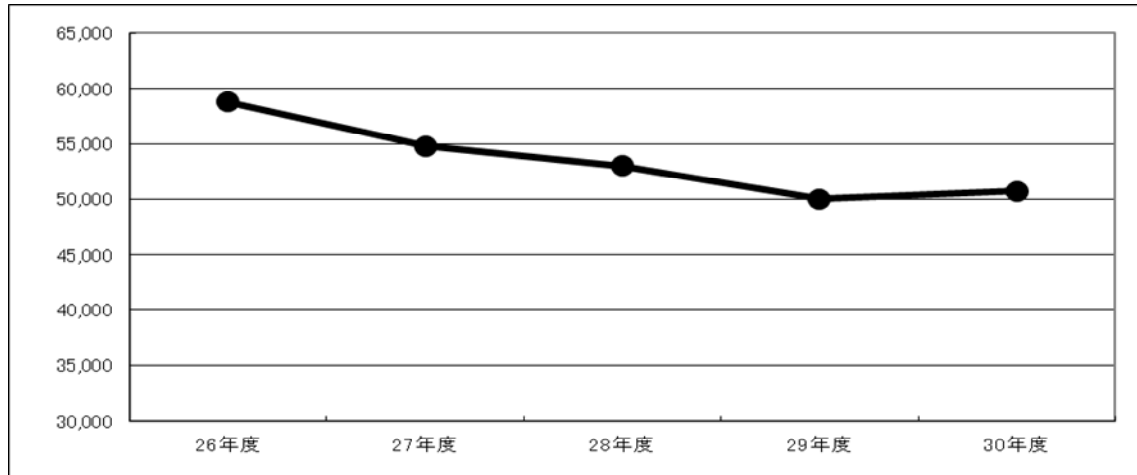
ジャンル	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
音楽(クラシック)	10	11	11	12	15
音楽(クラシック以外)	8	7	12	13	12
映画	14	12	15	11	12
演劇・古典芸能	6	6	4	4	3
美術	2	3	2	4	3
アウトリーチ	86	96	96	85	87
その他	9	12	46	54	59
合計	135	147	186	183	191
対前年度比	107%	109%	127%	98%	104%



【 入場者数 】

(単位：人)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
入場者数	58,788	54,798	53,024	50,037	50,713
対前年度比	90.9%	93.2%	96.8%	94.4%	101.4%



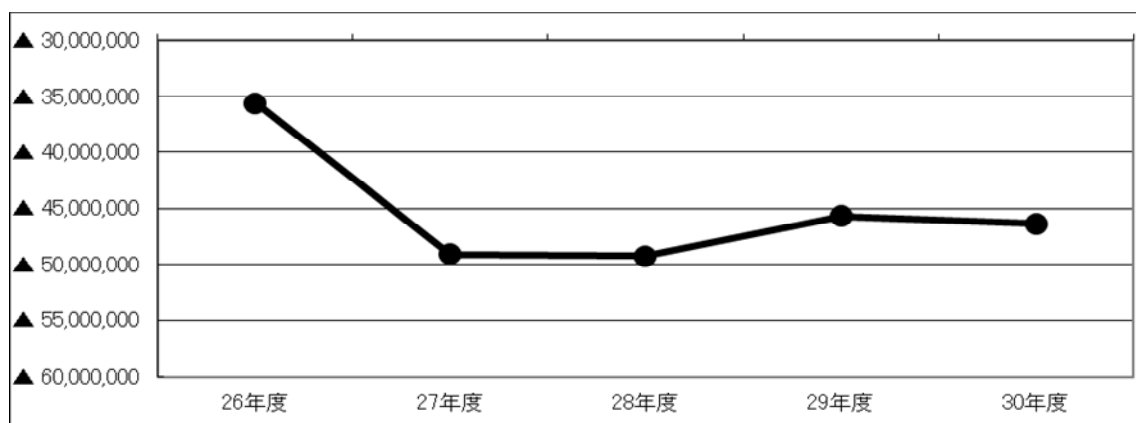
[収支状況]

(単位：円)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
収入	60,136,440	55,783,916	56,860,092	56,843,649	54,281,740
支出	95,722,796	104,853,665	106,085,930	102,515,565	100,628,304
収支差額	▲ 35,586,356	▲ 49,069,749	▲ 49,225,838	▲ 45,671,916	▲ 46,346,564

※収入：文化事業費収入—チケット発送手数料収入

支出：文化事業費支出—文化事業共通支出



[ユリックススマイルクラブ（友の会）事業]

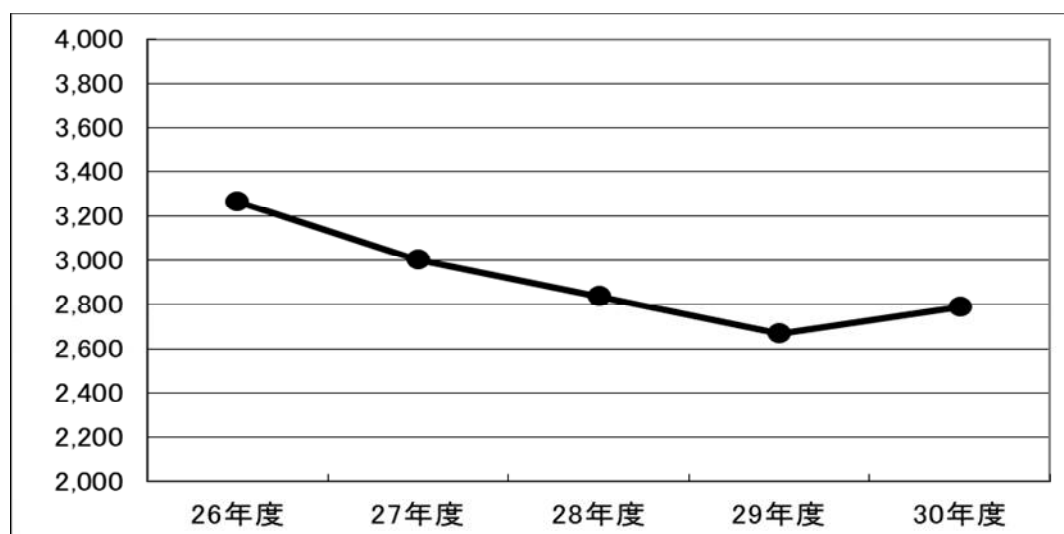
平成27年度からは「ユリックス スマイルクラブ」と名称を改め、特典の見直しも行い、会員の皆様にとってより利便性の高い会員制度とした。

30年度は2,791人となり、前年同月比121人増加。

【 ユリックススマイルクラブ会員数 】

(単位：人)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
会員数	3,265	3,003	2,839	2,670	2,791
対前年度比	95.6%	92.0%	94.5%	94.0%	104.5%



[ユリックススマイルクラブ入会特典について]

●年会費 500円

☆ユリックス主催事業のチケット料金が10%引き

☆チケット購入金額100円ごとに5ポイント付与

☆入会時500ポイント進呈

☆ユリックス名画シアター1作品がいつでも会員料金700円

☆託児サービスが無料 ほか

主催事業・ジャンル別

(1) 宗像ミアーレ音楽祭～響きわたれ！おんがくの風～

事業名称	出演者	入場者数
【プレイベント】 九管ホップファミリーコンサート	九州管楽合奏団	584人
【プレイベント】 ジャズジャズジャズで始まる！ わくわく・ドトキ♥オーケストラ体験(夏) わくわく・ドトキ♥オーケストラと遊ぼう(冬)	指揮とお話:松村秀明 管弦楽:九州交響楽団	775人
九響と散策する名曲の小径 九州交響楽団&岩崎宏美	指揮:飯森範親 歌:岩崎宏美	1,116人
ミアーレ・ジュニア合唱団コンサート	合唱指導:重住千寿香 スペシャルゲスト:アルケミスト ミアーレ・ジュニア合唱団	349人
ミアーレ吹奏楽団 500人コンサート	宗像・福津市内中学・高校・大学の吹奏楽部生及び市民楽団ほか スペシャルゲスト:ブラックボトムブラスバンド	1,173人
国府弘子スペシャルトリオ with 藤原道山	国府弘子、藤原道山ほか	376人
国府弘子 Smile Kids Jazz	国府弘子ほか	206人
市民ステージ	73団体	3,875人
楽器で遊ぼう!音のミュージアム	市民団体&リリックスジュニアブラス	1,500人
いきいき出前コンサート 市内各所 87ヶ所で開催	・九州交響楽団メンバーによる弦楽四重奏&オーボエ ・九州管楽合奏団メンバーによる金管五重奏 ほか	11,374人
入場者数合計		21,328人

【事業の成果】

- ・生演奏に触れる機会を通じた広く市民への音楽文化の浸透
- ・継続的な文化芸術活動による鑑賞機会の確保とそれを支える仕組みづくり
- ・人材の養成と交流による市民文化活動の活性化

【運営体制】

「宗像ミアーレ音楽祭2018～響きわたれ！おんがくの風～」実行委員会を組織し、下記6部会を設置し運営を行った。(平成30年度文化庁 劇場・音楽堂等機能強化推進事業 助成事業)

- ・ホールイベント部会
- ・ミアーレ合唱部会
- ・吹奏楽500人部会
- ・市民ステージ部会
- ・楽器体験部会
- ・記録部会

九響と散策する名曲の小径



ジュニア・ミアーレ合唱団



【 宗像ミアーレ音楽祭2018 画像 】

国府弘子 Smile Kids Jazz



吹奏楽部学生 500 人コンサート (宗像・福津市内中・高・大学吹奏楽部生、市民吹奏楽団参加)



市民ステージ(ホワイエ)



楽器体験 ~上手くひけるかな~



(1) クラシック事業

『白石光隆室内楽シリーズ』、『米元響子リサイタル』、『小林沙羅& 荘村清志デュオリサイタル』など15事業を実施した。

また、招聘物でのニューイヤーコンサートとして『ウイーン・シュトラウス・フェスティバル・オーケストラ』公演を実施した。ウイーン発のニューイヤーコンサートであったことから、期待度が高くペアで来場されるお客様が多かった。今後も継続して取り組んでいきたい。

(2) 音楽事業（クラシック以外）

『SLIDE MONSTERS』、『精華女子高等学校吹奏楽部コンサート』など12事業を実施した。

宗像ミアーレ音楽祭では、宗像ユリックス開館30周年記念として『九州交響楽団& 岩崎宏美』、『国府弘子スペシャルトリオwith 藤原道山』のコンサートをハーモニーホールで、親子向けとして『国府弘子Smile Kids Jazz』2公演を美術ギャラリーで開催した。

また、宗像・福津市内の中高、大学の吹奏楽部生、市民吹奏楽団、ユリックスジュニアブラスが集合した『ミアーレ吹奏楽団500人コンサート』は参加者と観客の双方が一体となる素晴らしいステージとなった。

(3) 九州管楽合奏団

『九管ポップスファミリーコンサート』、『小学4年生文化芸術鑑賞事業』のホール公演や幼稚園・保育所でのアウトリーチ事業に加え、九州管楽合奏団のメンバーが市内中学校吹奏楽部に出向き奏法指導と合奏指導を行った。

また、「九州管楽合奏団の金管奏者たち」を開催。市内中学校吹奏楽部への奏法指導と合奏指導を行っている奏者の多くが出演したため、吹奏楽部生の来場が多くみられたことから、今後も同様の事業を企画する必要性を感じた。

(4) ユリックス ジュニアブラス

宗像市内小学生を対象として団員を募集し、26年4月に団員14名でスタートした『ユリックスジュニアブラス』は、九州管楽合奏団のチューバ奏者・丸田友博氏の指導のもと、ステージでの披露を目指して、毎週火曜日を定例練習日として、熱心な練習を行った。

宗像ミアーレ音楽祭の開会式やむなかた吹奏楽祭など、市の主要イベントで演奏を披露し、市民の皆様から温かい激励の拍手をいただいた。また、全日本実業団女子駅伝予選会プリンセス駅伝では、ファンファーレを演奏し、その様子が全国放映された。

団員数は平成31年3月現在33名（卒団予定者12名）となり、今後のより一層の活躍が期待される。

(5) いきいき出前コンサート

「ホールで生の音楽を聴きたいけど、なかなか足を運ぶことができない。」そんな方々へ、プロの演奏家が「その場所」まで出向き、「生の演奏」をお届けし、プロの演奏家による本物の音を通して、「生きる喜び」や「感動する心」、「豊かな感受性」を育むことを目的としている。

本年度は、市内中学校全校でのアウトリーチ事業をスタートさせるなど年間を通して市内各所87カ所で、いきいき出前コンサートを実施した。

【主な編成】

- ・九州管楽合奏団メンバーによる金管五重奏
- ・九州交響楽団メンバーによる弦楽四重奏
- ・ピアノ&サクソフォン（二羽正行・松木陽介）
- ・ブラックボトムブラスバンド
- ・白石光隆（ピアノ）
- ・岩崎雅子（マリンバ） &
村岡慈子（パーカッション）ほか

中学校での BBBB によるアウトリーチ



すくすくコンサート



九州交響楽団弦楽四重奏+フルート



白石光隆 ～ピアノ解体ショー～



九州管楽合奏団《金管》



(6) スマイルキッズプログラム

国民生活基礎調査によると、子どもの貧困率は13.9%と子ども7人に1人は貧困層に属しているという社会環境があり、宗像市も平成24年度に「子ども基本条例」を制定している。それを受けて、宗像ユリックスは子どもに優しいまちづくりに向けてアウトリーチ・ワークショップ・ホールコンサートなどの子ども向け事業を体系的に組み立て、公共ホールの使命を果たすべく、以下の事業を実施した。

本年度は、ニーズの高まりを受けて、実験的取り組みとして「すくすくワンコインコンサート」を開催した。次年度より本格的に取り組んでいく。

〈 平成30年度実施事業 〉

	乳幼児(0~5歳)	小学校	中学校
アウトリーチ	すくすくコンサート	市内小学校全校でのアウトリーチ (九響弦楽四重奏ほか)	ブラックボトムブラスバンドによるアウトリーチ
	市内幼稚園・保育所でのアウトリーチ (パーカッション)		
鑑賞型事業	九管ポップファミリーコンサート	わくわく・ドキドキ・コンサート (夏・冬2公演)	課題曲コンサート
	すくすくワンコインコンサート		
	ステップファミリーコンサート 砂と音楽の物語	小学4年生文化芸術鑑賞事業	

SO-ONプロジェクト(3年目) < 助成:(一財)地域創造 >

中学校の吹奏楽部の活動は、地域の貴重な文化資源であるという認識から、各中学校の吹奏楽部を対象とした事業に着手した。市内6校の吹奏楽部に九州管楽合奏団の演奏者(楽器別に8人)を夏季と冬季の年2回派遣し、奏法指導と合奏指導を行った。加えて、中学校を対象とした「いきいき出前コンサート」、「クリニックコンサート」を実施した。

本事業は3ヵ年計画で取り組み、改善を加えながら事業を発展させることで、吹奏楽部活動を活性化させてきた。次年度からは獲得したノウハウを活かしながら更なる発展を目指す。

吹奏楽部での合奏指導



BBBBによる中学校でのアウトリーチ



(7) 映画事業

12作品を上映し、総入場者数5,391人となった。前年に対し、697人の増となり、1作品当たりの平均入場者数は449人となった。27年度の会員制度変更に伴い、入場料の見直しを行ったことで減少が続いていたが、新たなサービス内容が定着し入場者数が増え始めている。今後も積極的な広報で平均入場者数500人を目指していく。

(8) 演劇・ミュージカル事業

『ブルガリアカザンラック民族舞踊団』、『劇団飛行船 そんごくうの大冒険』の2本の事業を実施した。

(9) 古典芸能

『ゆりつくす日曜百円寄席』を実施した。『ゆりつくす日曜百円寄席』は、12年間続いている長寿企画で、度々チケットが完売となるなど安定して人気が高い。出演は「宗像落語会」とゲスト出演の全国各地で活躍するアマチュア落語家で、洗練された話術が好評であった。

(10) 美術事業

美術事業は、「県展宗像ブロック展」、「大きなクスの木の下で美術館展」の2事業を開催した。

「大きなクスの木の下で美術館展」は、海の街・宗像にちなんだ「水のある風景」をテーマに宗像市、福岡県立美術館との連携での開催となった。

期間中福岡県立美術館学芸員によるギャラリートークや美術ボランティア「くすのきスタッフ」によるワークショップを実施し、1,200人以上が作品を鑑賞した。



(11) 宗像市との連携事業

「宗像市文化芸術のまちづくり10年ビジョン」の具体的な取り組みとして、「小学4年生文化芸術鑑賞事業」を行った。これは小学生に本物の文化芸術を鑑賞する機会を提供するものである。九州管楽合奏団の団員が各学校を事前に訪問し、マナー等をレクチャーするなどの工夫を行った結果、非常に高い評価を受け、次年度の開催も決定。

小学4年生文化芸術鑑賞事業 九州管楽合奏団（指揮：橘直貴）



PR事業

■ユリックス・サラダ

情報誌『ユリックス・サラダ』の発行部数は、75,700部（宗像市広報 35,000部 福津市広報24,600部 宮若市12,400部 その他 3,700部）。宗像地区への全戸配布のほか、宗像地区以外のユリックス倶楽部会員、マスコミ各社、近隣文化施設などに送付した。

■マスメディアの活用

主催事業の中で事業効率を上げるために必要と思われるイベントについては、TV局ラジオ局に名義共催を依頼し、スポットCMを流すなど販売促進につなげるようしている。

また、新聞広告、情報専門誌などに各公演の発売前に「プレス資料」を作成し、掲載を依頼するなど、活字媒体を有効に利用し、積極的に情報発信を行った。

■ポスター・チラシなど

ユリックス催し物の内容や開催時期をお知らせするポスター・チラシは、プレイガイドや近隣の文化施設に適宜配布し、主催事業のPRを行った。また、チラシの配布については、主催事業はもちろんのこと、ユリックスでの貸館公演の際にパンフレットに折込みを依頼した。

■ホームページ

公演情報や募集案内など、ユリックスの様々な情報をホームページに掲載し、適宜更新した。常に、各施設の案内から利用料金、主催事業や貸館でのイベント情報、当館までの交通アクセスなど、さまざまな情報を掲載して、お客様の利便性向上に努めている。

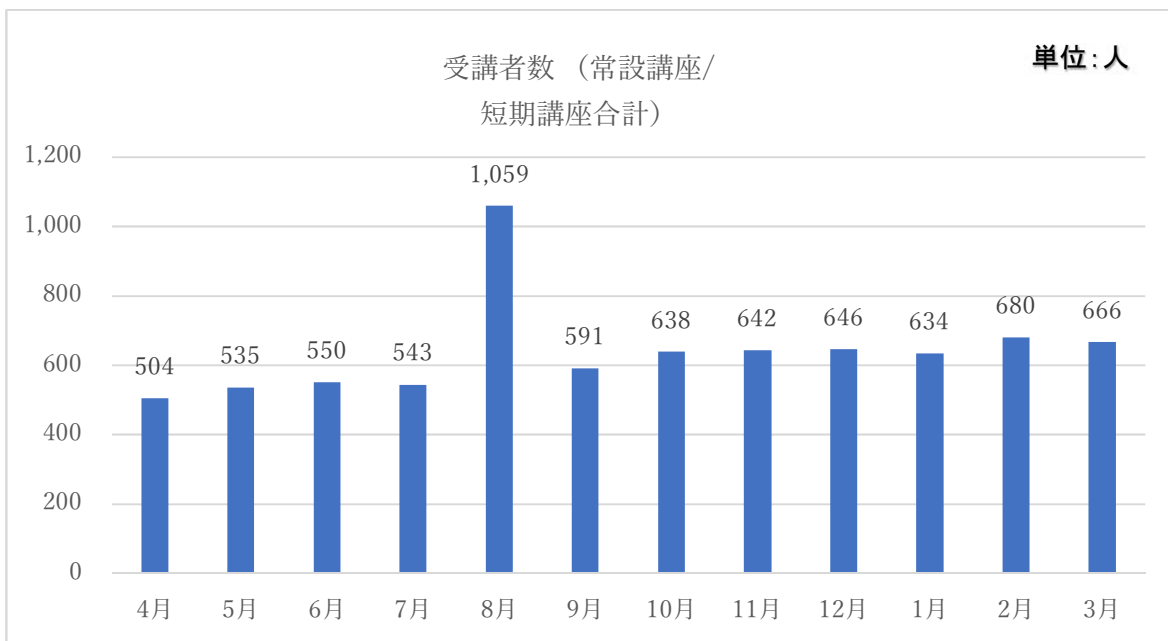
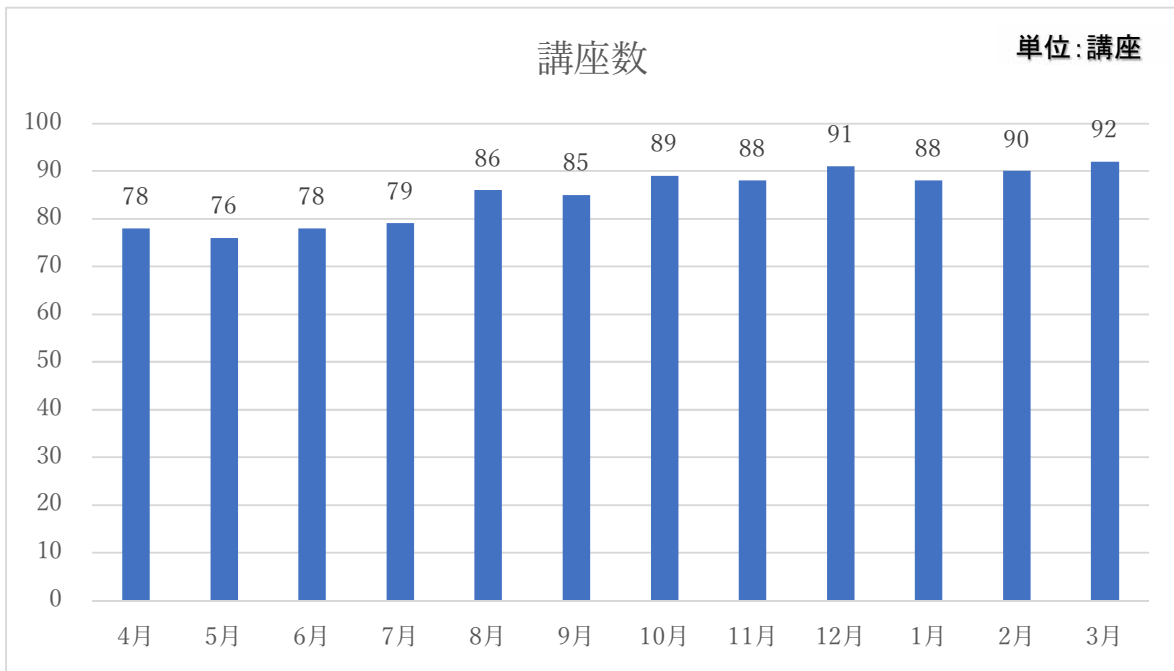
平成30年度宗像ユリックス主催事業一覧

NO	月日	事業名	ジャンル	内容	会場	主な入場料金	入場者数	収支差額(円)
1	毎月第2日曜日	ゆりっくす日曜百円寄席	古典	日本の芸能である落語を定期的にお届けする。併せて、地域の落語家の皆様に定期的に発表の場を設け、地域文化の振興を図る。	大和室	100円	90人	▲ 182,270
2	4/15	スギテツ ファミリーコンサート	音楽	「クラシックを遊ぶ音楽実験室」をテーマに、クラシックの名曲をさまざまな音楽や環境音と融合させ、聴くだけでなく観て楽しめるファミリーコンサート。	ハーモニー	2,000円	265人	▲ 1,459,045
3	5/6	BEYOND Inspired by New York 助成：劇場・音楽堂等機能強化推進事業	音楽	トロンボーン4本という最もシンプルな編成で、トロンボーンの可能性を最大限に拡張するかつてないコンサート。世界のトッププレイヤー4人が一同に会した。	ハーモニー	4,000円	490人	▲ 1,100,683
4	5/27	すくすくワゴンコンサート —The PIANO Party!— 助成：劇場・音楽堂等機能強化推進事業	音楽	ピアノが歌って踊って笑い出す、デュエットによる親子向けコンサート。子育て環境にありホールに足を運べないお母さんや、小さくてコンサートに行けないお子様にも、生の演奏を届けるためのコンサート。	ハーモニー	500円	404人	▲ 542,335
5	6/2	ブラジャー・クワルテットwith山崎智子 ～弦の国・チェコからの贈り物～	音楽	2014年に来日し、大きな感動を呼んだチェコを代表する室内楽団ブラジャー・クワルテットの公演。ロータス・カルテットのヴァイオリン奏者である山崎智子をゲストに迎え、オール・ドヴォルザーク・プログラムをお届けした。	ハーモニー	1,500円	245人	▲ 1,187,122
6	6/9	古澤巖 ヴァイオリンの夜	音楽	2013年から開催している別格本山「鎮国寺」でおなじみの古澤巖が、満を持して宗像ユリックスのステージに登場。古澤巖のヴァイオリンの音色を味わい尽くすコンサートとなった。完売。	ハーモニー	4,000円	604人	681,271
7	6/24	白石光隆室内楽シリーズ 助成：劇場・音楽堂等機能強化推進事業	音楽	宗像ユリックスではおなじみのピアニスト・白石光隆が、チェロ奏者の原田哲男とクラリネット奏者のタラス・テムチンを迎え室内楽コンサートを開催。アウトリーチ8回、音楽講座2回をコンサート前に実施。	ハーモニー	3,000円	202人	▲ 2,001,247
8	7/18～29	宗像ユリックス開館30周年記念企画 ワンモアチーズ！～記念写真をもう一度～写真展	その他	昔の写真と同じメンバー、同じ構図で再撮影した不思議で楽しい写真展。一般公募の写真とともに、30年前に開館した宗像ユリックスの周辺写真とドローン空撮による現在の比較写真も公開。	市民ギャラリー	無料	406人	▲ 27,432
9	7/21	劇団飛行船マスクレイミュージカル スーパーモンキー「そんごくの大冒険」 (1公演)	演劇	毎年大好評の劇団飛行船公演。今年は世界中の子どもたちに愛されるファンタジー「西遊記」から、孫悟空と牛魔王が繰り広げる大冒険を、マスクレイとアニメ映像のドッキングでお届けした。	ハーモニー	2,500円	440人	▲ 936,246
10	7/22	わくわく・ドキドキオーケストラ体験！！VOL5 助成：劇場・音楽堂等機能強化推進事業	音楽	夏の人気公演がパワーアップして登場。今回は夏の公演では初となる、九州交響楽団のクラリネット首席奏者のタラス・テムチンを生演奏に迎え、クラシック音楽の名曲からなじみのある曲まで幅広く展開した。	ハーモニー	1,500円	479人	▲ 1,740,221
11	8/19	宗像落語会定例寄席 「第三十回 うぐいす寄席」	古典	毎月の日曜百円寄席に出演している、宗像落語会による定例寄席。	大和室	無料	123人	▲ 19,750
12	8/25	九管ボップスファミリーコンサートスペシャル 助成：劇場・音楽堂等機能強化推進事業	音楽	九州管楽合奏団とオリタ・ノボッタが贈る、毎年恒例の子ども向けコンサート。今年は歌のまゆおねえさんとダンスのまゆおねえさんをゲストに迎え、スペシャルなコンサートをお届けした。	ハーモニー	1,500円	584人	▲ 617,184
13	9/2	すくすくワゴンコンサート～木管アンサンブル～ 助成：劇場・音楽堂等機能強化推進事業	音楽	毎月行っているすくすくコンサートの拡大版として開催しているワゴンコンサート。親子、母親同士の交流も図る。	ハーモニー	500円	282人	▲ 80,190
14	9/24	ブルガリアカザンラック	その他	第15回目のカザンラック民族舞踊団宗像ユリックス公演。太鼓踊りなどの新しい演出と色鮮やかな民族衣装で会場を鮮やかに彩った。バラの女王の来場や、ブルガリア物産展の同時開催も会場を盛り上げた。グローバルアリーナとの共催事業。	ハーモニー	2,000円	509人	▲ 113,750
15	10/16～28	第74回福岡県美術展覧会 宗像巡回展	美術	福岡県美術展覧会の巡回展。日本画・洋画・書・写真部門の入賞作品と宗像地区の入選作品、また、同地域の福岡県美術協会会員出品作品を展示。	展示室	高校生以上 200円	647人	▲ 447,455
16	12/16	精華女子高等学校吹奏楽部 「吹奏楽&マーチング」	音楽	全国吹奏楽コンクールや全国マーチングコンテストで金賞の常連である精華女子高等学校吹奏楽部による公演。吹奏楽ステージとマーチングステージの2部構成。	イベント	2,000円	871人	624,430
17	12/22	漆原朝子&ベリー・スナイダー クリスマスコンサート	音楽	20年以上にわたってデュオを組む二人が、円熟した演奏を披露。森のレストラ「女神のテーブル」の協力により、公演に合わせたケーキセットも限定販売した。	ハーモニー	1,500円	286人	▲ 772,978
18	1/12	ウィーン・シュトラウス・フェスティバル・オーケストラ 助成：劇場・音楽堂等機能強化推進事業	音楽	ウィーンが世界に誇るオーケストラの初登場。オーケストラの他に歌手、ダンサーを迎え、新年を祝うプログラムに華を添えた。	ハーモニー	5,500円	461人	▲ 2,225,850
19	1/20	わくわく・ドキドキオーケストラと遊ぼう！！VOL2 助成：劇場・音楽堂等機能強化推進事業	音楽	九州交響楽団による、ファミリー向けの本格クラシックコンサート。冬公演としては2回目。今回はリストに飯田知樹を迎え、公開リハーサルやミニコンサートも開催した。	ハーモニー	1,500円	296人	▲ 1,575,757
20	2/23	米元響子ヴァイオリンリサイタル 助成：劇場・音楽堂等機能強化推進事業	音楽	今年デビュー20周年を迎えるヴァイオリニスト・米元響子が、人気・実力ともに日本を代表するピアニスト・菊池洋子とともにソロリサイタルを開催。圧巻の演奏で観客を魅了した。	ハーモニー	2,000円	261人	▲ 756,845
21	3/2	すくすくワゴンコンサート —spring spring!— 助成：劇場・音楽堂等機能強化推進事業	音楽	毎月行っているすくすくコンサートの拡大版として開催しているワゴンコンサート。親子、母親同士の交流も図る。今回はチェロの原田哲男、フルートの大村友樹、ピアノの山本朝子が出演。	ハーモニー	500円	368人	83,038
22	3/3	九州管楽合奏団の金管奏者たちvol.2 ～Respect～	その他	九州管楽合奏団の金管奏者たちが集まり、アンサンブルの醍醐味を若者たちへ繋ぎたいという思いを込め、金管楽器の可能性を追求したコンサート。九州管楽合奏団との共催。	ハーモニー	1,500円	198人	▲ 58,370
23	3/9	砂と音楽の物語 助成：劇場・音楽堂等機能強化推進事業	その他	軽やかなマリナーの演奏に合わせて次々と展開するサンドアート。まるで絵本の世界に飛び込んだような新感覚コンサートで、ユリックス開館30周年をお祝した。	ハーモニー	1,500円	423人	▲ 758,974
24	3/24	小林沙羅 & 荘村清志デュオリサイタル	音楽	今最も注目されるソプラノ・小林沙羅とギター会の高高峰・荘村清志によるデュオリサイタル。歌とギターの珍しい組み合わせで、イタリアの古典歌曲から武満徹まで、幅広くお届けした。	ハーモニー	3,500円	210人	▲ 1,505,881

公2「文化芸術振興事業（文化講座運営事業）」

取り組み・施策

今年度、新たにスタートした「にっこり文化講座」運営。1年目は78講座504人の受講生でスタートした。事業を引き継いだ宗像文化サークル時代からの講座に加え、新たな講座を立ち上げることにより、ラインナップの充実を図り、受講生の増加を目指した結果3月末時点で92講座666人の受講生となった。



平成30年度 にっこり文化講座 開講 講座数及び受講者数 推移

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
講座数(講座)		78	76	78	79	86	85	89	88	91	88	90	92	85
受講者数 (人)	常設講座	504	535	550	543	534	591	626	619	638	634	659	644	590
	短期講座	0	0	0	0	525	0	12	23	8	0	21	22	51
	合計人数	504	535	550	543	1,059	591	638	642	646	634	680	666	641
常設講座 受講者数 (人) ジャンル別	音楽	100	101	103	111	108	116	119	121	129	132	130	130	117
	美術	43	47	47	47	47	46	45	45	45	47	52	57	47
	工芸	20	23	23	23	23	23	23	23	23	23	24	26	23
	伝統文化	33	31	31	34	28	35	27	28	35	34	34	27	31
	美容健康	87	88	88	93	106	117	128	128	128	123	124	126	111
	教養	26	30	31	31	45	38	44	44	45	47	48	49	40
	趣味	121	132	140	138	105	142	152	143	155	153	156	158	141
	スポーツ	28	28	29	28	28	28	32	32	32	29	29	29	29
	料理	26	34	36	17	24	24	34	28	18	18	34	15	26
	ジュニア	20	21	22	21	20	22	22	27	28	28	28	27	24
短期講座(人)	0	0	0	0	525	0	12	23	8	0	21	22	51	
合計(人)	504	535	550	543	1,059	591	638	642	646	634	680	666	641	

平成30年度 延べ受講者数 7,688人 (常設講座、短期講座 受講者数合計)

公2「文化芸術振興事業（プラネタリウム運営事業）」

プラネタリウム総括

全国のプラネタリウム館調査による最新のランキング（日本プラネタリウム協議会調べ）では、小規模館の部門において全国5位の来場者数を誇る（平成30年度調査における集計）。人口10万人規模の自治体の施設としては、これは全国トップクラスとなる。

平成30年度のプラネタリウムの来場者数は27,119人で、前年度より1,000人減となった。

■プラネタリウムプログラム

子ども向けプログラム「ほしぞらクレヨン★」では、星空へのお絵描きやクイズ、ショートストーリーを季節に合わせて内容を変更し、来場者がいつも違った内容を楽しめる仕掛けが好評でリピーターが多い。今年度はショートストーリーの「みずがめ座とわし座のおはなし」と「おうし座のおはなし」の2作品と宇宙旅行のシーン、クイズなどを新たにオリジナルで制作した。また、12月の「クリスマスのおくりもの」はボランティアスタッフが中心となり企画し、声の出演をした番組であった。

おとな向けプログラムでは「小惑星探査」「星空の立体地図」「オリオン大星雲」といった最新の天文学や宇宙探査の成果を取り上げたものを中心に実施した。また、7月に15年ぶりの大接近を迎えた火星にまつわる番組「火星大接近と惑星たち」を夏休みにかけて実施し、好評であった。おとな向けでは合計4種類を実施している。

通年で実施している「リラクセーションプログラム」は、美しい映像や星空・音楽が好評で、安定した集客となっている。

また、今年も3月9日には仙台市天文台制作の震災特別番組「星空とともに」を特別プログラムとして実施し、56人の来場者があった。

■学校団体向け学習プログラム

学習プログラムとして、小学校・中学校向けの各プログラム（4種類）を実施した。前述の通り前年度比約6.6%減の来場者数となった。また、市内学校団体の利用状況は15校中12校（前年比+4）となっている。少子化が進んでいる中、健闘しているといえよう。

■ボランティアスタッフの活動の支援

ボランティアスタッフ（ほしぞらスタッフ）は47人の登録があり、観望会「ほしぞらウォッチング」を始め、様々な事業の企画・運営・補助を担ってもらっている。今年度も前年度に引き続きクリスマス番組の新作を制作することができた。

近年は、ボランティアスタッフ個々の環境の変化などから参加人数の減少などが問題となっている。今後の課題である。

■その他活動

今年度で5期目となった小学生向けの講座「ほしぞら友の会」では、市内外の23人の小学生(4～6年生)が参加し、月1回の講座・工作・観察を行った。12回の講座と、福岡教育大学理科講座天文学教室と連携し、特別観望会を実施し、延べ325人の参加数となった。科学を担う施設として、小学生に対する講座を今後も継続していきたい。

プラネタリウム番組

<平成30年度のプログラム>

区分	プログラム内容	来場者	実施期間
おとな向け	「小惑星探査」	1,347人	4～6月
	「火星大接近と惑星たち」	3,080人	7～9月
	「星空の立体地図」	943人	10～12月
	「オリオン大星雲」	1,327人	1～3月
こども向け ほしぞらクイズ★	「からす座のおはなし」	2,929人	4～6月
	「いるか座のおはなし」	5,563人	7・8月
	「みずがめ座とわし座のおはなし」	2,653人	9～11月
	「クリスマスのおくりもの」	1,209人	12月
	「おうし座のおはなし」	2,714人	1～3月
リラクゼーション	「Starry Music ～image18を聴きながら～」	2,302人	通年
学習	小学3年生プログラム 小学4年生プログラム 小学6年生プログラム 中学3年生プログラム	6件 354人 43件 1,885人 3件 81人 0件 0人	通年
特別番組	仙台市天文台制作震災特別番組 「星空とともに」	56人	2019年3月9日

第5期ほしぞら友の会



◎ 宗像ユリックスプラネタリウム 第5期ほしぞら友の会 2019.3.16

ボランティアの活動風景(火星観望会)

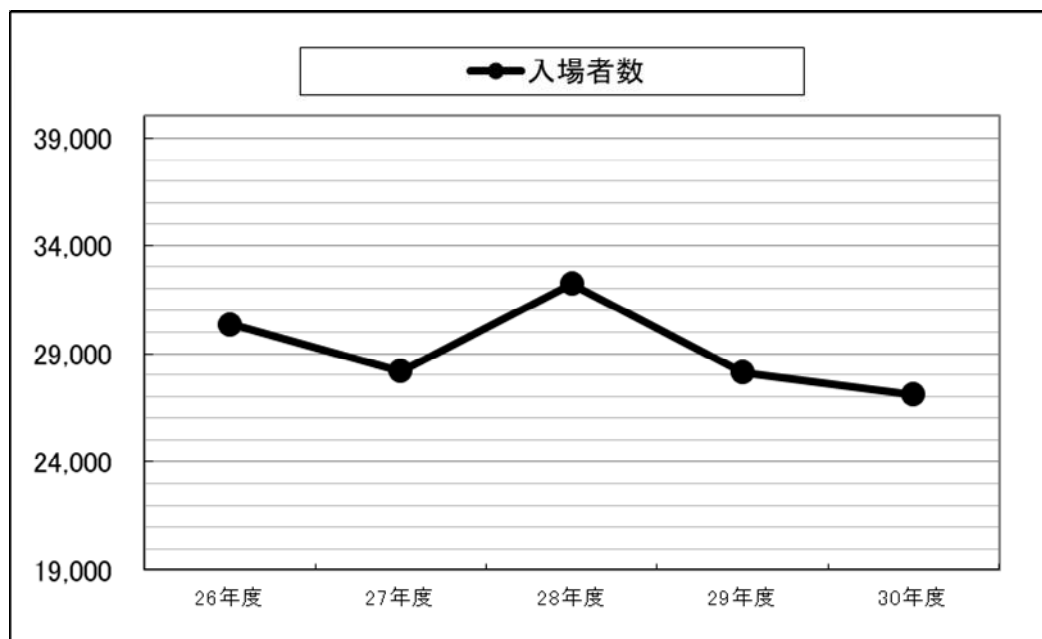


<入場者数の推移>

(単位:人)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
入場者数	30,345	28,186	32,225	28,119	27,119
対前年比	104.6%	92.9%	114.3%	87.3%	96.4%

※観望会等の野外を除く



<イベント実施状況>

	区分	イベント名	実施日	参加者人数
1	講座	ほしぞら友の会第1回「オリエンテーション」	4月21日	32人
2	講座	ほしぞら友の会第2回「プラネタリアムのしくみ」	5月19日	27人
3	講座	ほしぞら友の会第3回「望遠鏡工作」	6月16日	26人
4	講座	ほしぞら友の会第4回「月の観察」	7月21日	26人
5	イベント	プラネタリアム解説ツアー(リックスワフeday)	7月29日	12人
6	講座	ほしぞら友の会第5回「ペットボトルロケット打上げ」	8月18日	21人
7	講座	ほしぞら友の会福岡教育大学望遠鏡観望会	8月22日	32人
8	講座	ほしぞら友の会第6回「太陽系と宇宙の広がり」	9月15日	30人
9	講座	ほしぞら友の会第7回「火薬ロケット工作」	10月13日	19人
10	講座	ほしぞら友の会第8回「火薬ロケット打上げ」	11月17日	22人
11	講座	ほしぞら友の会第9回「流れ星について」	12月15日	25人
12	講座	ほしぞら友の会第10回「日時計・太陽観察」	1月19日	21人
13	講座	ほしぞら友の会第11回「地球について」	2月16日	23人
14	講座	ほしぞら友の会第12回「星の一生」	3月16日	21人
			合計	337人

<観望会「ほしぞらウォッチング」>

	実施日	内容	解説	天体観望
1	5月19日(土)	月・金星・木星・春の星空	98人	120人
2	6月23日(土)	太陽	64人	70人
3	7月14日(土)	木星・土星	174人	250人
4	8月4日(土)	火星観望会	—	250人
5	9月22日(土)	お月見	—	150人
6	12月8日(土)	特別観望会	—	24人
7	1月6日(日)	部分日食観察会	—	50人
8	3月2日(土)	冬～春の星空	44人	中止
		合計	380人	914人

※「ほしぞらスタンプカード」を実施し平成30年は3～9月の5回の観望会が対象。

平成30年は金賞(パーフェクト5回参加)26人・銀賞(4回参加)5人・銅賞(3回参加)4人

<出張観望会・出前講座>

	実施日	団体名	参加人数
1	7月25日(水)	古賀市エコロの森(工作教室・市外)	23人
2	8月24日(金)	ふれあいの森総合公園(観望会・市内)	100人
3	9月21日(金)	新宮町杜の宮通学合宿(観望会・市外)	21人
4	9月22日(土)	宮若市山口ブロック協議会(観望会・市外)	200人
5	10月13日(土)	日の里地区コミュニティ(観望会・市内)	80人
		合計	424人

公3「健康増進事業（健康増進施設管理運営事業）」

アクアドーム

本年度も、①健康づくり拠点としての機能強化、②一般利用者の増加、③宗像市関連部署との連携強化を念頭に業務に取り組んだ。

第4期指定管理期間の1年目である本年度の年間総利用者数は、191,925人で、前年に対して4,977人の減少（前年度比97.2%）となった。前年度末に介護予防教室が廃止となったことと、利用者の高齢化が進み運転免許証を返納される人が多いことが要因と考えられる。また、特に夜間の利用者が減少傾向である。

ウェルネスクラブ会員数は、40歳未満の入会者は19人で、総会員数は245人と前年同数であった。また、芝生広場を活用した「グラウンドゴルフ大会」、調理実習の「男のクッキング」や「手作り工房」、ウォーキングバスハイク（春）、ランニング練習会、宗像市健康課作成のウォーキングマップを活用したイベント、宗像市商工観光課が作成した、宗像・岡垣登山マップを活用した登山イベントを企画し実施した。

スイミングスクールを実施していない7月8日に、「夏季限定ペアペアチャレンジ教室」「夏季限定水中運動」「夏季限定水泳教室（初級クラス）」を実施した。

一般利用者の増加については、宗像2大学2高校の優待利用や、広報紙での告知強化などを積極的に行ったことが奏功した。

ゆ〜ゆ〜プールの入場者数は、目標としていた60,000人は達成したが、昨年よりも、4,068人少ない62,091人であった。障がいのある方々にも「ゆ〜ゆ〜プール」を楽しんでいただけるように、7月7日に「障がい者開放日」を設定したが、天候不良により利用者がいなかった。

前年から引き続き、宗像市健診の結果において支援対象であり結果説明会に参加されなかった人への電話勧奨、特定健診結果相談会における「簡単な講義および運動指導」「アクアドーム積極的支援プログラム紹介」「アクアドームの施設紹介」を行う派遣指導、特定保健指導の積極的支援および動機付け支援を行った。

[アクアドーム利用者数]

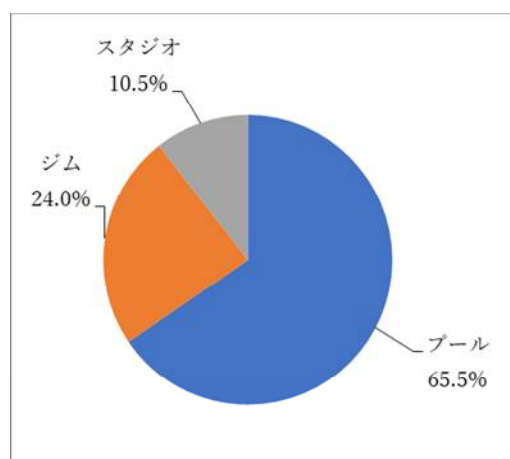
(単位：人)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
アクアドーム合計	200,266	198,181	204,219	196,902	191,925
プール	131,564	129,113	133,984	129,990	125,634
ジム	45,346	44,638	45,743	45,222	46,067
スタジオ	23,356	24,430	23,692	21,690	20,224
対前年度比	99.3%	99.0%	102.6%	96.8%	97.5%

■施設別利用人数

アクアドーム年間利用者数 191,925 人のうち、プール利用者は 125,634 人であり、アクアドーム全体の約 65%を占めた。

施設別に前年度と比較すると、プール利用者数 4,356 人減 (96.7%)、ジム利用者数 845 人増 (101.9%)、スタジオ利用者数 1,466 人減 (93.3%)であった。その結果、アクアドーム全体では 4,977 人減で前年度比 97.5%であった。



■ 利用種別状況

利用種別で見ると、プール利用者全体のうち個人・団体・回数券の利用割合は 17.9%、年間券は 48.3%であり、スイミングスクール・ウエルネスクラブ等の主催事業に係る利用は 40,719 人で全体の 32.4%となった。

トレーニングジム利用者の中では、ウエルネス会員の割合が 67.6%を占めた。

スタジオでは、にっこり文化講座を含めた一般利用 5,242 人 (25.9%)、教室・レッスン・エアロビクス 14,982 人 (74.1%)となった。

ゆ～ゆ～プール

本年度の営業は、7月8日、14日、15日、16日を先行営業し、通常営業は7月21日より9月2日の計48日間であった。また、7月7日に障がい者開放日を設定した。

総入場者数は 62,091 人 (1日平均約 1,267 人) で、前年度の 66,159 人 (営業日数 52 日間、1日平均 1,272 人) と比べると 4,068 人 (6.3%) の減少であった。

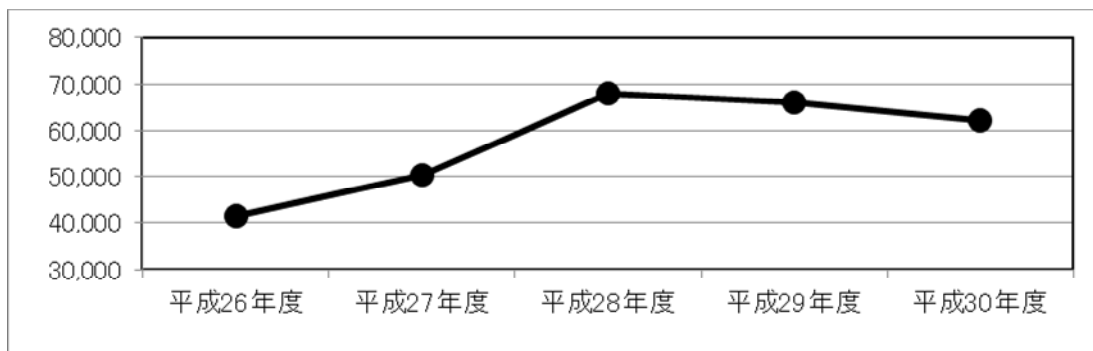
本年も特別企画として平日 3 時以降の入場料を半額にする「ゆ～涼み割引」を実施した。

ゆ～涼み割引の入場者は 8,881 人 (1日平均 185 人)、お弁当プラン団体で利用者は 602 人、アクアヌードル貸出は 413 件であった。

[ゆ〜ゆ〜プール利用者数]

(単位：人)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用者数	41,430	50,405	68,089	66,159	62,091
対前年比	74.7%	121.7%	135.1%	97.2%	93.9%



パットゴルフ場

本年度利用者数は4,235人で、前年度に比べて172人増加した。近年の減少傾向に歯止めをかけるために、毎週火曜日の「シニアデー」、毎週土曜午前中の「親子ペアデー」を行なっているが、お客様への認知度はまだまだ低く、現時点では大きな増加につながっていないため、次年度は曜日を限定していた「シニアデー」、「親子ペアデー」を全日対象とした「シニア料金」、「親子ペア料金」へ変更し、積極的な広報活動による企画の浸透とリピーターの育成をはかり、入場者増加を目指す。

【 パットゴルフ利用者数 】

(単位：人)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用者数	5,062	4,724	4,157	4,063	4,235
対前年度比	106.8%	93.3%	88.0%	97.7%	104.2%

その他屋外施設

多目的広場は、本館で多数の来館が予測されるイベントがある場合の臨時駐車場として運用するとともに、幼稚園の運動会や少年サッカークラブの練習などで利用されている。

芝生広場・サーキットトレーニングコースは、市内だけでなく近郊の幼稚園・小中学校の遠足などで利用されているほか、休日には家族連れの来園が多い。

平日においても幼児を連れた多くの親子連れにとって憩いの場となっている。

公3「健康増進事業（健康増進企画・体験事業）」

健康づくり事業

利用者に対する健康づくり運動・レクリエーションスポーツ・生涯スポーツの普及に努めた。

健康づくり事業のメイン事業であるユリックスウエルネスクラブとスイミングスクールでは、会員・受講者の健康維持増進・健康支援を行うとともに、会員の獲得・継続・利用促進に力を注いだ。

■ ウエルネスクラブ

健康づくり・体力づくりの推進及び施設利用の促進を目的とした「ユリックスウエルネスクラブ」は、今年度末会員数が245人となった。（前年度245人）

ウエルネスクラブの会員増に向けての施策として、宗像市の特定保健指導・積極的支援アクアドームプログラム、動機付け支援アクアドームプログラムを実施した。

前年度に積極的支援の初回指導を終了し、本年度継続した対象者は3人であった（途中終了は0人）。本年度の積極的支援初回指導が終了したのは3人、6ヶ月のプログラムが終了したのは1人であった。最終計測までプログラムが終了していないのは2人で、途中終了は0人であった。

また、動機付け支援（1回のみ指導）は9人であった。

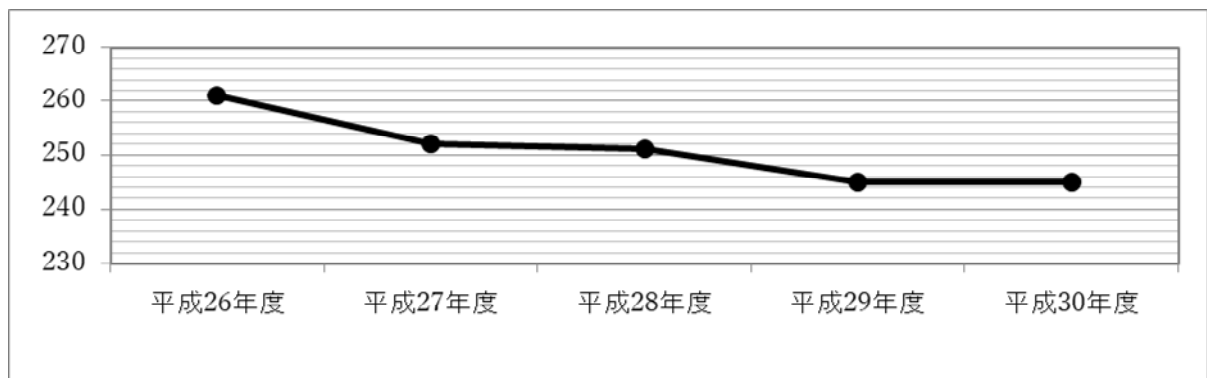
市検診の結果において、支援対象であり結果説明会に参加されなかった人へ電話勧奨を25件行った。特定健診結果相談会における「簡単な講義および運動指導」「アクアドーム積極的支援プログラム紹介」「アクアドームの施設紹介」を行う派遣指導を24件行った。

アクアドームは、ウエルネスクラブの会費が所得税の医療費控除対象になる、「指定運動療法施設」に認定されている。

【 ウエルネスクラブ会員数 】

（単位：人）

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
ウエルネスクラブ会員	261	252	251	245	245
対前年度比	102.8%	96.6%	99.6%	97.6%	100.0%



■ スイミングスクール

ウエルネスクラブと並ぶ健康づくり推進事業のスイミングスクールについては、週 1 回コースを 23 クラス、週 2 回コースを 1 クラス、3 ヶ月を 1 期として年間 3 期行った。受講申込者数は 906 人と前年度 980 人に比べ 74 人（前年比約 92.4%）減少となった。

利用者の中には 10 年間受講されている人もおり、今後は利用者の高いレベルに対応できるようにインストラクターの指導力向上に向けた取り組みが重要となってくる。泳法指導以外の「らくらく膝腰運動」や「水中ウォーク」「い～BY運動」などの教室で、高齢者やプールが苦手な人にも気軽に健康づくりのできる教室展開を図っている。

夏季ペアペアチャレンジ教室を 7 月、8 月の計 4 回、土曜日 9:00～10:00 に実施し 23 人（欠席 2 人）が参加した。スクール（ペアペアチャレンジ）からの参加者がほとんどであった。

夏季限定水中運動を 7 月、8 月の計 8 回、水曜日 11:30～12:30 に実施し 210 人（欠席 4 人）が参加した。

夏休み初級水泳教室を定員人で 7 月、8 月の計 9 回、木曜日 12:00～13:00 に実施し 57 人（欠席 1 人）が参加した。

■ スタジオプログラム

エアロビクスは 8,905 人、前年比 67.7%（前年 13,158 人）、スタジオレッスンは 6,082 人、前年比 93.2%（前年 6,528 人）、合計は 14,987 人の参加があった。

祝日プログラムと、スタジオイベントは 356 人が参加した。

ストレッチショートプログラムは、モーニングストレッチ 3,404 人、ランチストレッチ 1,507 人、ディナーストレッチ 876 人の合計 5,787 人の利用があった。

〔 栄養調理教室 〕

調理実習の「クッキングメイツ」は、年間 6 回、177 人が参加。前年度は、年間 9 回実施し、236 人であった。1 回あたりの参加人数は 29.5 人（前年度 26.2 人）であり、1 回あたりの参加人数は増加した。

「男のクッキング」は、定員 15 人で運動と食事の両面からの健康づくりを考え、調理と栄養について学ぶ、男性のみの調理実習。男性の多くは自炊の習慣がなく食事の面からの健康づくりに関心をもっていない人が多いが、自炊で自己の健康管理ができるようになることが必要と考えられるため実施。参加者は 60 代～80 代である。計 3 回実施し 50 人（前年度 50 人）の参加であった。

〔 手作り工房 〕

第 1 回：09/28（金）「ゆず胡椒作り教室」 30 人

第 2 回：09/29（土）「ゆず胡椒作り教室」 30 人 計 60 人の参加であった。

スポーツイベント

南ゾーン各施設の利用促進とスポーツ・レクリエーションの振興のために各種のイベントを実施した。ほとんどが屋外イベントで天候などに左右されやすいが、中止ではなく延期で対応している。24時間EKIDENや12時間耐久スイムは、アクアドームの利用者を中心としたボランティア団体が大会運営をするなど市民参加型のイベントとして根づいている。

〔 第24回24時間EKIDEN 〕 (5月5日～6日)

実行委員会形式とし、ボランティア団体中心の大会運営となって好評であった。芝生広場の外周(850m)を1チーム(1人以上)で一本のタスキをリレーしながら、24時間(休憩自由)に走った距離を競う大会である。

有料参加は59チーム(1,215人:一般、1,019人 中・高校生、89人 小学生、107人)あり、前年度69チーム(1,446人)より10チーム少なく、参加者231人の減少で開催した。

当日は、義援金を募るイベントを行い、参加者が一体となり被災地を盛り上げることができた。大会を通じて、義援金は「熊本震災に対する寄付金」「東日本大震災ふくしま子ども寄付金」に寄付した。

〔 第30回ユリックスカップ・テニストーナメント 〕 (10月14日)

雨天の場合や参加者の負担などを考慮し、予選リーグと決勝トーナメントを1日で終了するために72ペアの募集を行った。

今大会は、54ペア(男子Bクラス6ペア、Cクラス22ペア、女子Bクラス9ペア、Cクラス17ペア)、108人の参加で大会を実施した。

〔 第27回12時間耐久スイム 〕 (11月17日～18日)

温水プールの営業時間外の夜間(22:00～10:00)を使い開催している。温水プールが7コースで35チームしか参加できないという制限はあるものの、九州各地から根強いリピーターが受付初日から申込みのような人気のある大会である。

本年度は28チーム(鉄腕の部7チーム、エンジョイの部21チーム)有料参加者数:234人であった。前年度は263人で、今年度は、前年度より29人少なかった。

アクアドームでもウエルネス会員やスイミングスクールの教室受講生がチームをつくって参加し、日頃のトレーニングの成果を競技とは関係なく、楽しんでいる大会である。

〔 第8回 グラウンドゴルフ 〕

10月22日(金)、宗像ユリックス芝生広場にて「第8回宗像ユリックスカップグラウンドゴルフ」を開催した。

144人定員で募集した。600円/人とし、101人(当日欠席6人)の参加があった。

[ウォーキングイベント]

宗像市健康づくり課作成のウォーキングマップの認知度を上げ、ウォーキングの楽しさや効果を知っていただくために行った。

第1回

開催日：11月8日(木) 9:30~12:30 参加費：210円/人(飲み物、保険料込) 参加人数7人
ルート：ウォーキングマップV o 1. 1 「唐津街道と癒しのスポットコース」

第2回

開催日：3月28日(木) 9:30~12:30 参加費：210円/人(飲み物、保険料込) 参加人数5人
ルート：ウォーキングマップV o 1. 8 「ヒルズウォーキング、フラワーコース」

[ランニング練習会]

これからランニングを始めようとしている人、ランニング愛好者に対して、音楽を使用したピッチ走法、ランニングのための筋力トレーニング指導及び情報提供を行った。

年間12回実施。参加者数は、計12回実施163人であった。昨年度の235人より72人参加者が少なかった。

[登山イベント]

第1回

開催日：6月13日(水) 9:30~13:00 参加費：300円/人(飲み物、保険料込) 参加人数9人
ルート：許斐山

第2回

開催日：10月18日(木) 9:30~13:00 参加費：300円/人(飲み物、保険料込) 参加人数10人
ルート：城山

第3回

開催日：3月26日(火) 9:30~13:00 参加費：300円/人(飲み物、保険料込) 参加人数6人
ルート：新立山

法人運営「組織・運営体制、財政運営」

全般／指定管理業務について

平成30年度は、第四期指定管理の指定を受けた初年度であった。非公募で宗像ユリックスの指定管理を受託し、宗像市民のみならず周辺地域の方々からの期待に応えるべく管理運営を行った。

宗像ユリックスは、平成とともに歩み始め、平成30年に開館30年目を迎えた。定期的に施設のメンテナンスを行っているものの経年劣化、老朽化も目立ってきており、各設備の点検や修理をきめ細かく実施し、安全・安心な施設づくりを目指して日々の管理に努めた。

特に南ゾーンの芝生広場については、市内のすべての教育機関に対し、芝生保全対策のため毎年1月から5月までの間、芝生広場でのランニング規制の理解と協力を求めた。

文化事業においては、「宗像市文化芸術のまちづくり10年ビジョン」の推進のため、宗像ミアーレ音楽祭、アウトリーチなど、世代に応じた活動を引き続き積極的に行った。

また、南ゾーンを中心としたスポーツ・健康づくり事業については、アクアドームの利用者が目標の年間20万人に届かなかったことから、利用者の少ない時間帯に対して利用者の増加を見込める事業の実施を指示した。

今後も宗像ユリックスの運営を通じ、宗像市の文化・スポーツ・健康づくりに貢献していく。

運営体制

本年度の職員の人員体制としては、総合職として法人運営を担うことができるよう中核職員の配置転換を行った。また、公益法人会計のシステム更新のため、経理スタッフを充実させ、運営体制の強化を図った。

また、国や福岡県の定める最低賃金の引き上げや適正な人材の確保のため、公益財団法人設立以来はじめて給料表の見直しを含む各職員規程（中核、専任、嘱託、臨時）の一部改正を行った。財団の継続的な運営を図るため、今後とも組織体制の改善に向けて検討を行っていく。

[職員数推移]

(単位:人)

	第3期指定管理				第4期指定管理
	26年度末	27年度末	28年度末	29年度末	30年度末
財団職員	34	34	36	38	42
中核(市派遣)	1	1	1	1	1
中核(財団)	4	4	4	4	4
専任	5	5	5	4	4
嘱託	7	8	7	7	10
臨時	17	16	19	22	23
人材派遣	—	—	—	—	—
合計	34	34	36	38	42
対前年度比	100.0%	100.0%	105.9%	105.6%	110.5%

※文化講座職員増

財政運営

本年度は、30周年記念事業のため約718万円の赤字決算となっているが、内400万円については30周年記念事業積立金を充てたため、実質約318万円の赤字決算である。

決算を前年度と比較すると、収入の部について、増収項目は、手数料収益が約117万円の増収、受講料収益が約2,644万円の増収。減収項目は、利用料金収益が約△1,056万円の減収、施設運営受取負担金が約△300万円の減収、受取会費が約△146万円の減収、受取補助金が約△125万円の減収、受託事業収益が約△368万円の減収となった。

支出の部については、支出増項目は給与手当が約161万円の増額、賃金が874万円の増額、共済費が約168万円の増額、報酬が約975万円の増額、福利厚生費が約110万円の増額、委託費が約791万円の増額。減額項目は役員報酬が約△282万円の減額、消耗品が約△254万円の減額、印刷製本費が約△116万円の減額、光熱水費が約△1,112万円の減額となった。

[指定管理料推移]

(単位:円)

予算ベース	第1期(平成18~21年)	第2期(平成22~25年)	第3期(平成26~29年)	第4期(平成30~33年)
指定管理料	357,308,000	346,083,000	368,828,000	367,328,000
対前期増減率	-	96.9%	106.6%	99.6%

